

事業評価報告書

1 地域課題の名称

若い世代からの交通安全・防犯ボランティアの獲得

2 市町村名及び評価部局課名

高岡市生活環境文化部市民生活課

3 課題の概要

本市では、交通安全・防犯に関する各種団体が活動しているが、近年、参加者の高齢化が進み、ボランティア人口の減少がみられる。こうした各種団体の後継者を、幅広い年代で地域ごとに確保・育成するための方策に関し、必要な調査、研究を行うもの。

4 解決策の提言に対する評価(観点及び分析等について、具体的に記載願います。)

(1) 「組織の合理化」について

【観点・分析】

- ① メンバーや活動が重複している。構成員や活動の重複の実態を詳しく調査し、互いに情報を開示することが肝要。役割分担の見直し・効率化を目指し、部会化・合併も。
- ② 団体が多いことにより間口が広くなり、ボランティアになるきっかけが増えるという見解は、深刻な担い手不足・構成員が重複している現状では通用しない。

【提言に対する評価】

ご指摘の通りと考えます。特に構成員・活動の重複に関する意見はボランティアの方々や自治会等の母体となる団体からも多く聞かれます。一方で一部団体からは②前段の主張もあることから、今後は行政が中心となって関係機関、団体やその構成員の意思統一を図る方策を検討し、各団体が納得できるようなスリム化を図る必要があると感じました。

(2) スポット的な参加の仕組み

【観点・分析】

- ① 役職やそれに伴う会議、会合、懇親会、交通安全以外のイベントへの参加など、若い世代のインタビューでも批判的な意見。引き受け手がないという本末転倒の状況。
- ② PTAや自治会を対象に、回覧板アプリなどでスポット的な参加を可能にする仕組みに。
- ③ すべての啓発活動の情報を一元化する。

【提言に対する評価】

①はご指摘の通りと考えます。本来の活動以外が負担という声は若年層以外からも聞かれ、こうした負担軽減に向けた組織の意識改革をどのように進めるかが課題と考えます。②、③のご提案は予算措置や自治会等の理解と協力を得る必要があることから、今後調整に向けた検討を進めます。